

### —概要—

リハビリテーション科では、リハビリテーション専門医1名、理学療法士18名、作業療法士7名、言語聴覚士4名、事務員1名を配し、周術期の患者さんを中心に様々な視点からリハビリテーションを実施している。多くの診療科の患者さんに対応したリハビリテーションを実施できるように、リハビリテーション診療基準において、運動器Ⅰ、脳血管Ⅰ、心大血管Ⅰ、呼吸器疾患Ⅰ、がん患者リハビリテーションの施設基準を取得している。

理学療法部門では、呼吸サポートチーム、緩和ケアチーム、心臓リハビリテーションチームの構成員として院内で活動している。さらに、糖尿病患者さんの糖尿病教室や生活習慣病の教育事業にも参加し、運動習慣の改善に貢献できるように活動している。また、心臓リハビリテーションにおいて、患者さんの個々の運動能力に応じて正確な運動处方が出来るようにするため、心肺運動負荷試験(CPX)を導入した。

作業療法部門では、日常生活動作の方法を安全に実施して頂けるためのパンフレット作成や福祉用具の紹介、提供などを行っている。また、褥瘡予防についても取り組んでおり、病棟スタッフと協力して患者さんのポジショニングを実施している。さらに、褥瘡予防のチームにも参加しており、院内の研修会も実施している。

言語聴覚部門では、患者さんの摂食嚥下機能の向上をはかるため、病棟スタッフと協力して摂食嚥下療法に取り組んでいる。また、栄養サポートチームの構成員として院内で活動しており、摂食嚥下に関する研修会や、嚥下造影検査も実施している。

高次脳機能検査では、脳血管障害の患者さんに対する検査以外にも正常圧水頭症、認知症患者さんに対し、医師の診断の補助的な検査も実施している。

### —実績—

2014年4月から2015年3月の理学療法実施人数は、34,550人、実施単位数は延べ51,700単位であった。

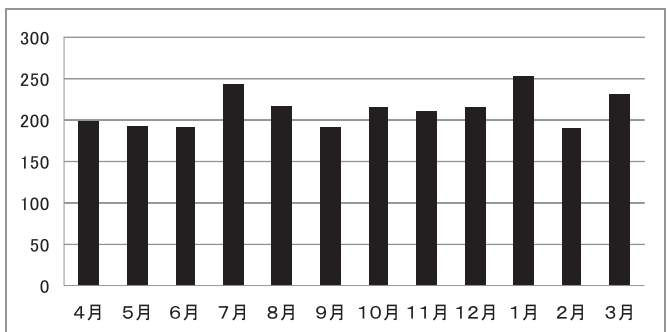


図1. 理学療法患者数（月別推移）

2014年4月から2015年3月の作業療法実施人数は、14,017人、実施単位数は延べ18,507単位であった。

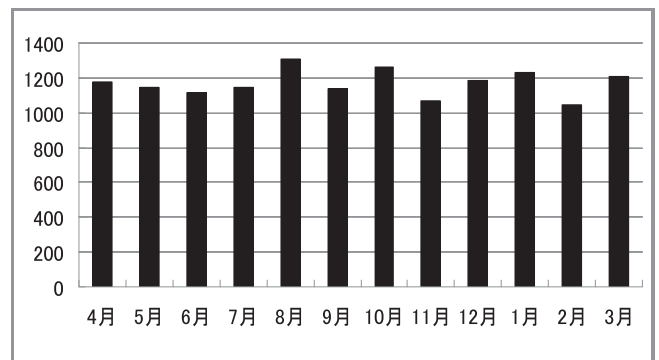


図2. 作業療法患者数（月別推移）

2014年4月から2015年3月の言語療法実施人数は、5,872人、実施単位数は延べ8,093単位であった。

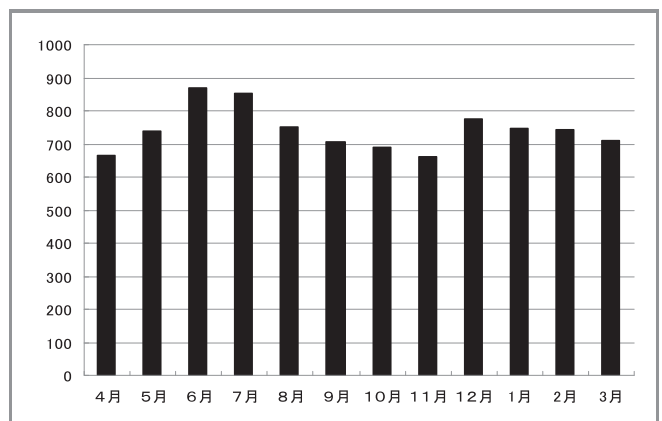


図3. 言語療法患者数（月別推移）